## 会

## 報

## 第 48 号





表 紙 写 真

姫 路 港

(提供: 姫路海上保安部)

## 目 次

第105回 月例会概要	
(1) 事業概要報告等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
(2) 講演 「南海トラフ地震及び内陸型地震の影響と防災」	
神戸地方気象台	
南海トラフ地震防災官 伊藤 嘉記 氏	
第106回 月例会概要	
(1) 事業経過報告等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	13
(2) 講演 「外国船舶監督業務について」	
神戸運輸監理部 海上安全環境部	
首席外国船舶監督官 河西 守行 氏	
第107回 月例会概要	
(1) 事業経過報告等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	20
(2) 講演 「地球温暖化による気象災害と健康への影響」	
神戸海難防止研究会 副会長	
神戸大学·大島商船高等専門学校	
名誉教授 石田 廣史 氏	
事業報告	
和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査ビジュアル操船シミュレータ実験・	33
大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究第1回検討会・・・	35
神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討調査(基礎工事編)第1回委員会・・・	38
大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に	
関する調査研究第2回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	42
和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査検討部会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	45
大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究第2回検討会・・・	47
和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査第2回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の運航実態と海難防止に	
関する調査研究第3回委員会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究第2回委員会・・・	56

会	務	報	告											
第	106	回業	<b>务運営</b> 会	≧議・・			• • • • •				• • • • •		• • • • •	61
第	107	回業	<b>务運営</b> 会	≧議・・			• • • • •				• • • • •		• • • • •	62
第	108	回業	<b>务運営</b> 会	⋛議・・							• • • • •			63
船舶	白交通	鱼随愿	Ż											
穿	§20	可 が	置艇に	関する	)一考			• • • • •	• • • • •			• • • • •		65
事務	务日壽	き抄・・	•••••	•••••	••••	• • • • •	•••••	· • • • • •	•••••	• • • • • •	•••••	•••••		67
お矢	口らせ	<u> </u>			• • • • •	• • • • •			• • • • • •					68
			訂正につ											
お課	さびと	訂正					• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •	• • • • •		71

## 第105回 月 例 会 概 要

- 1 日 時 令和6年2月1日(木)15:00~16:00
- 2 場 所 神戸市中央区文化センター10階 1001-1002会議室
- 3 出席者 50名
- 4 概 要
  - (1) 事業経過報告等

奥原専務理事から事業報告及び会務報告が行われた。

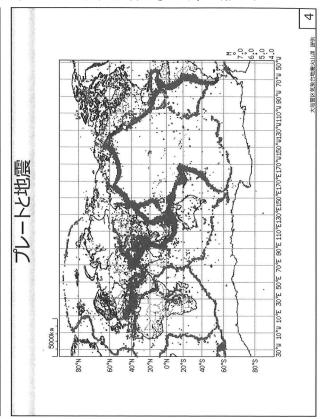
### (2) 講 演

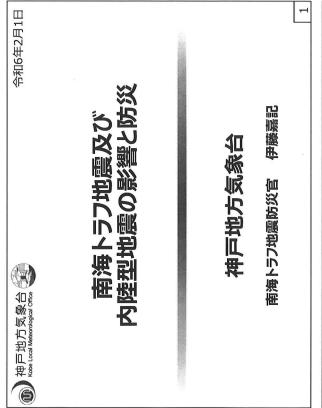
神戸地方気象台 南海トラフ地震防災官 伊藤 嘉記氏により「南海トラフ地震及び内陸型地震の影響と防災」と題し、講演が行われた。

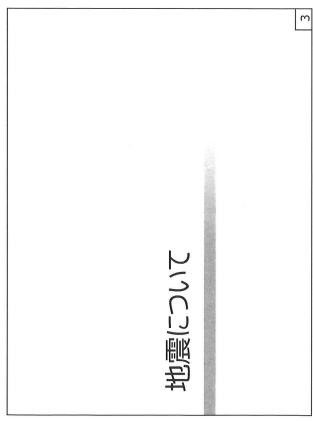
## 海海トラフ地震及び内陸型地震の影響と防災

講師 神戸地方気象台 南海トラフ地震防災官 伊 藤 嘉 記 氏

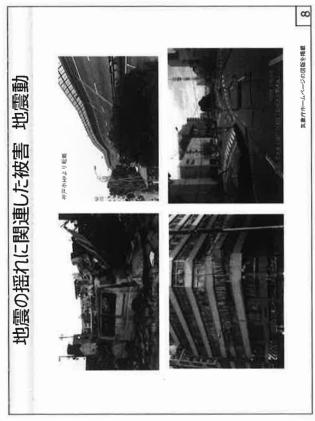


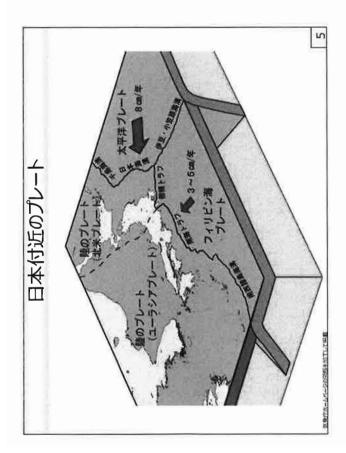


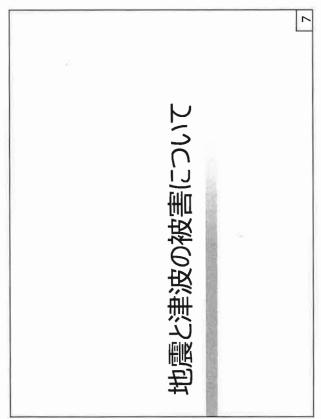


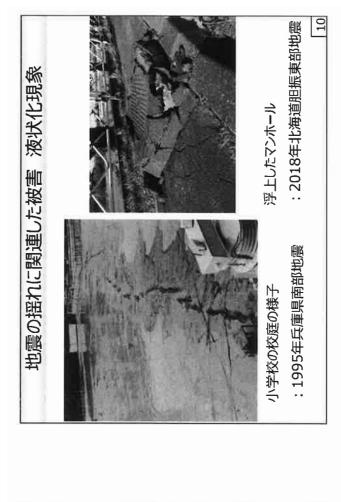


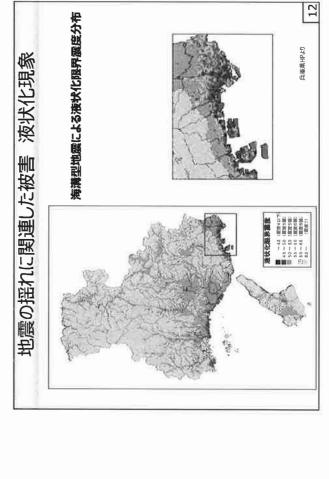














## 長周期地震動 地震の揺れに関連した被害

日本で発生する地震のタイプ

平成7年兵庫県南部地震、平成28年熊本地震 など

内陸の活断層で

がには固有の離れやすい副原と さものがあります。 「の波がそれに近い国際を含ん いると、職物はその国際で大き

く価れます。 この現象を共振といいます。

発生する地震

深さ20km程度まで

作成冊子より 文部科学省

長い周期

短い周期

甲成23年(2011年) 獨北協力太中採沓苗贈(M9,0) 類別

日本列島周辺で発生する地震のタイプ

# 地震の規模が大きい場合、周期の長い大きな揺れが発生

固有周期の揺れに対し、共振する 建物は高さによって異なる固有の 揺れやすい周期を持ち、

[長周期地震動]の影響で 大規模地震で発生する 大きく揺れることに注意! 高いゲルでは・・・

揺れは、低層階より、高層階の ほうが大きくなる 2011年の東日本大震災の時の 東京都内の同一どルにおける 低層階と高層階の被害状況 首都圏などでは高層建物が 大きく長く揺れた

長周期地震動に関する観測情報(賦行)」平成25年3月から



長周期地震動の影響で室内の家具や什器が転倒、移動 したり、エレベーターが故障することがある

地帯調運研究推進本部JHP内のイラストにJメントを追加して作成

海溝型地震と比べ、規模が小さ

甚大な被害が発生する 浅いところで起こるため、

・私たちが生活する直下の

掘れの特徴

14

海のプレートの流み込み

事のプレート

·M7.0程度 (M8.0程度の事例

も願の特徴

事のプレート

もあり[1891年濃尾地震])

ナノート名で配生する地震

プラード談呼が発生する地震

### 主要な活断層で発生する地震を対象とした 353 (地震調査研究推進本部の地震調査委員会) ۷ 注)均度後経過率が0.7以上である活断層については、 ランクに、を付記する 30年以内の地區発生確率が0.1%未満 30年以内の地震発生確率が0.1~3% (すべこ地震が起こることが否定できない) 30年以内の地爾発生確率が3%以 「地震発生可能性の長期評価」 大甲·淡路島断層帯 主部 六甲·淡路島断層帯主部 淡路島西岸区間 山崎断層帯主部南東部 山崎断層將主部北西部 淡路島 東岸 区間 大甲山地 西海一 地震発生確率が不明 所屬帯名 有馬-高槻断膳帯 兵庫県や周辺の主要な活断層帯 山田断層帯主部 発売 5 529 A.B. A 55.5 ひと と う い X 52.5 (特別語一學位は為別語等色類 (學及就是恢發表別語等) 三方・花所製業等 保養服務報 七町馬瀬井 263 大衛送馬蘭等 **有机一品技术服务** 小本 一大学院 山本 一 六甲·汉路韋所備將 小田原瀬井 (BUEO%-1% 0.1%-1% 50km 34.8

# 内陸の活断層で発生する地震の特徴1

規模の大きな地震を、繰り返し発生させてきたところ 活断層:地下の断層運動のずれが地表まで達する、

活断層があるところでは、規模の大きな地震が発生する可能性がある



阪神・淡路大震災の原因と なった野島断層

15

16

# 内陸の活断層で発生する地震の特徴2

○活断層が認められない場所でも、過去に活動した、 地下の断層が存在する可能性がある

地表に断層運動のずれが現れることは 認められることはあまりない まとんどなく、活断層が M 6 25 2以下

発生場所が浅いため、規模が比較的

小さくても、活動すれば大きな影響

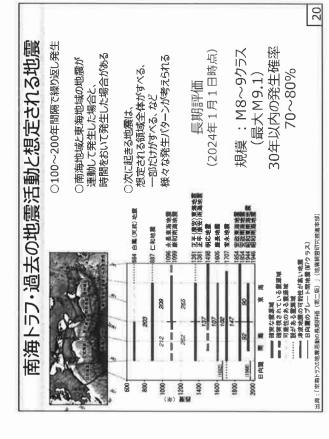
M 7 クラス以上でも、地表に断層運動のずれが現れないことがある

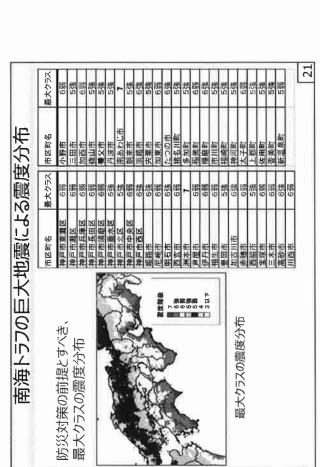
M7.3 鳥取県西部地震 例:平成12年(2000年) 被害の発生が考えられる場所では注意!

17



## 揺れの強かったところは、続けて発生する地震に注意 内陸の活断層で発生する地震の特徴3 倒壊した建物、崩落した斜面など、続けて地震が起きると、 大きな地震に続き、多数の地震活動





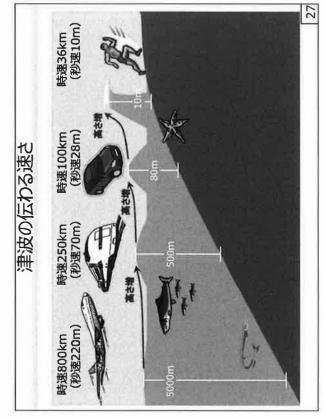












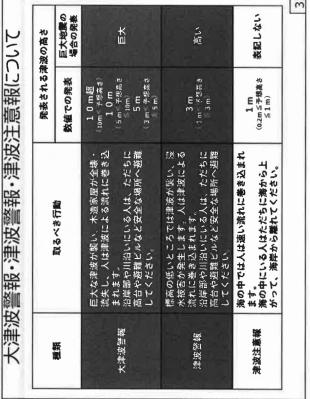


地震と津波の情報

津波の高さ	سلما	予想有度 1/2~2倍 程度 ○「遡上高」 高さは「予想される津波の高さ」と 同程度~ (高い場合) 4 倍程度	2、最高潮位が最も高くなる 後瀬所 □□	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1		3
	○津波情報で発表する「予想される津波の高さ」		○満潮時の潮位 に津波が重なると、最高潮位が最も高くなる	津波がなかった場合の潮位との差い	平常難位(楽漢がない場合の選位)	31
報についる	表される津波の高さ	での発表を合うの発表を	1 0 m ass m 子母高さ 1 0 m n 子母高さ 5 m 5 m 5 m 5 m	E E E E E E E E E E E E E E E E E E E	n F機高さ 表記しない n)	
注意	器	数値での	10 m 全部表 10 m 全部表 10 m 全部 10 m 5 m 全部 5 m 5 m 5 m 5 m 5 m 5 m 5 m 5 m 5 m 5	3 1 = 3 3 = ₹	<b>1円</b> (0.2m≤予機高さ ≤1m)	
·津沢			様ち ち遊り に雑	いに だくびゅう ちょう はまま はまま はっぱん に難	ις Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε Ε	
ははでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、		取るべき行動	巨大な津波が襲い、木造家屋が全壊・ 流失し、人は津波による流れに巻き込 まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに 高台や遊難ビルなど安全な場所へ避難 してください。	標高の低いところでは津波が暖い、没水被害が発生します。人は津波による流れに巻き込まれます。 沿岸部や川沿いにいる人は、ただちに高台や避難ピルなど安全な場所へ避難してください。	海の中では人は遠い流れに巻き込まれます。 ます。 海の中にいる人はただちに海から上がって、海岸から離れてください。	

32

29

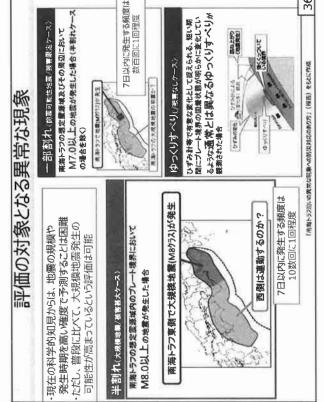


情報の種類	80 代
際度速糧	・最大震度 3 以上を観測した場合、 高度 3 以上を観測した地域名 - 全国を188地域、 <b>(兵庫順内は 4 区分)</b> と 地震の揺れの検知時刻を速報
震源に 関する情報	・ <u>津波による被害の心配がない場合、</u> 地震の発生場所(儒順)や その規模(マグニチュード)を 「 <b>洋波の心配がない」</b> 末はす 「若干の海面影動があるかもしれないが被害の心配はない」 旨を付加して発表 (津波警報または注意報を発表した場合は発表しない)
震災・調度 情報	・最大震度1以上を鬱潮した場合、 地震の発生場所(震源)や 地震の規模(マグニチュード)に加えて 衛度1以上を鬱潮した地点 と 観測した楽度 高度3以上の地域名 と 市町村毎の観測した誤度 を発表
	・藤度 5 弱以上と考えられる地域で <b>副産名入手していない地点が</b> あ場合は、 その <b>市町村、地点名を発表</b> (情報に記載がないが大きく思れたとみられる市町
長周期地震動	・震度1以上を観測した地震のうち、長周期地震動階級1以上を観測した場合
に関する観測情報	・地域ごとの態度の最大値・長周期地震動階級の最大値のほか、個別の観測点毎に、長周期地震動階級や長周期地震動の周期別階級等を発表

<b>情報名</b> 南海トラブ地震 臨時情報	南海トラフ地震に関連する情報    情報発表条件
南海トラフ地震 関連解説情報	状況の推移等を発表する場合 〇「南海トラプ沿いの地震に関する評価検討会」の 定例会合における調査結果を発表する場合 (たじ) 南海トラブ地震臨時情報を発表する場合を除く)

34 都市部など著し、被害が発生する可能性がある地域で規模の大きな地震を観測した場合や 国外で発生した大規模噴火を覚知した場合にも発表することがある **国外で発生したM7.0以上の地震**の 発生時刻、発生場所 (震源)、地震の規模 (M) 及び、日本や国外への<u>津波の影響</u>について発表 **運度4以上の服度分布**を面的に表した「推計震度分布図」を 報道発表資料や地震解説資料の中で発表 (気象庁ホームページにも掲載) 地震が多乗ルた場合、 層接2以下の地震とリアの地震が 地震情報・他島回数に関する情報)で発表 なお、「展認策度情報」では震度3以上の地震のみ発表する 顕著な地震の**震滅要素を更新**した場合 地震情報 (顕著な地震の震演要素更新のお知らせ) を発表 器大概度5両以上を観測した場合、 その他の情報 推計 機度分布図 連ね地職に 関する情報

地震情報の種類

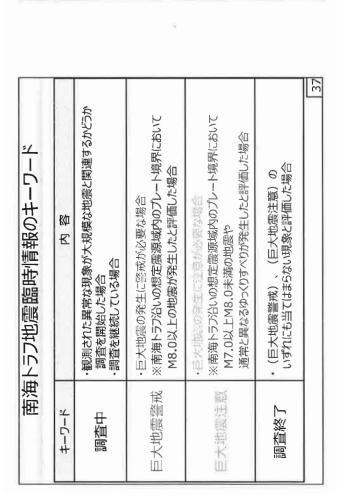


36

35

開始した旨や調査結果を南海トラフ地震関連解説情報 ※すでに必要な防災対応がとられている際は、調査を

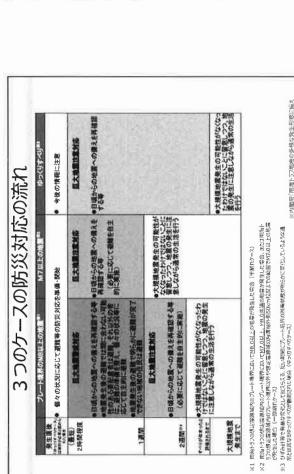
※本情報を発表していなくても、南海トラフ沿いの大規模地震が発生することがある で発表する場合がある



南海トラフ地震臨時情報の情報発表までの流れ

南海トラフの松尾海海域 またはその周辺で M6,8以上の拉馬が発生

現象発生



39

※内閣所「南海トラフ地森の多様な発生形態に備えた前辺対応後計がイドライン【第1版】」より

※4 2週間2は、後光均海運抵対応期間(1週間)+後常地保注無対応期間(1週間)



38

政府の呼びかけに応じて地方公共団体、企業、住民等が防災対応を実施

在の条件を 雑れさない 結合

(3.3)

M7以上の 相談 (※2)

> M8以上の 転職 (デ1)

の地無に関する評価検討会」を開催し

有護者からなる「南海トラ

1~2時間後

30分後

を発表

南海トラフ地震

臨時情報 (調查終了)

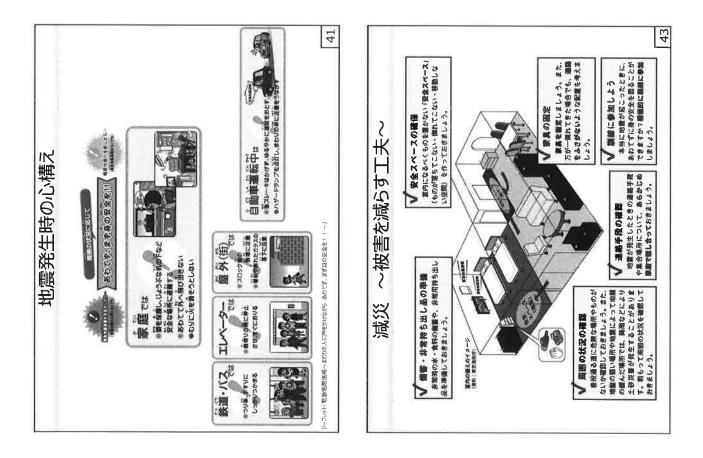
西海下ラフ告線 西部電機 (同大告線沖線)

商権トラフ地震 動勢情報 (巨大地震響成)

(最短) 2時間後







## 第106回 月 例 会 概 要

- 1 日 時 令和6年2月26日(月)15:00~16:00
- 2 場 所 神戸市中央区文化センター10階 1001-1002会議室
- 3 出席者 25名
- 4 概 要
  - (1) 事業経過報告等

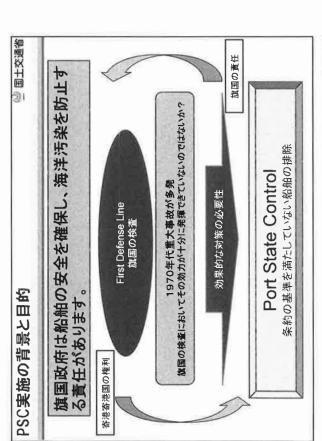
奥原専務理事から事業報告及び会務報告が行われた。

### (2) 講 演

神戸運輸監理部 海上安全環境部 首席外国船舶監督官 河西 守行氏により「外国船舶監督業務について」と題し、講演が行われた。

講師 神戸運輸監理部 海上安全環境部 首席外国船舶監督官 河 西 守 行 氏

国土交通省 ❷ 国土交通省 ・税金や人件費の安い国に船の国籍を置く、便宜置籍船(Flag Of Convenience ship) →しかしながら、旗国の検査が不十分なため、基準を満たさない船が航行することになり 船舶の安全運航の関しての、設備、船員資格については、その船が登録されている 21 国際条約で定められた基準を満たしていないまま航行する船 検査体制や能力が整っていない旗国が多く、充分な検査をしていないこと このため、これを補完するためにPSC検査が必要 が広まり、これまで船舶を監督したことのない新興海運国が増えたこと 1. サブ・スタンダード(sub-standard): 標準以下の船舶 PSCの地域間国際協力の概要 2. サブスタンダード船が増えている理由 重大な海難などを引き起こすことになっている。 サブ・スタンダード船とは? 本日お話しする内容 PSC検査の実際 PSC検査データ PSC実施の背景と目的 旗国が監督する責任がある。 · PSCISONT 何が標準以下? 3. 旗国主義 はじめに ◎ 国土交通省 H24年1月13日イタリア船籍クルーズ客船コスタ・コンコルディア PSC (Port State Control) 海難防止、人命•海洋環境保護 (114,500トン) 神戸運輸監理部 外国船舶監督官 サブ・スタンダード船の排除 令和6年2月 沖で衝突したシエラレオネ船籍 貨物船ジィアフイ(2,962トン)と 転覆した日本船籍貨物船第18 栄福丸(498トン) H25年9月27日東京都伊豆大島 PSC実施の背景と目的 1 国土交通省



海洋汚染等及び海上 災害の防止に関する

(海上における衝突の予防のための国際規則に関する条約) (船舶の有害な防汚方法の規制に置す

船舶安全法

SOLAS条的(海上人命安全条約) 要水種に関する国際条約)

国際条約

国内法

国際航海船舶及び国 際港湾施設の保安の

確保等に関する法律

(船舶のバラスト水及び沈殿物の規制及び管理のための国際条約)

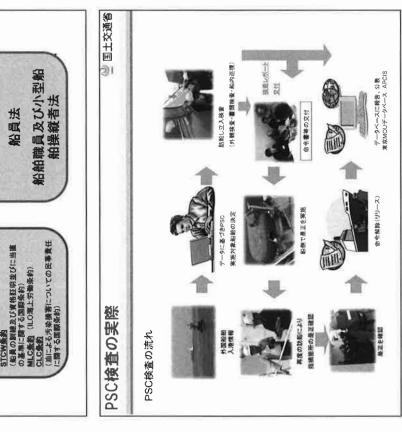
MARPOL集的 (国際海洋污染防止条約)

船員法

◎ 国土交通省

**PSCの根拠となる条約** 

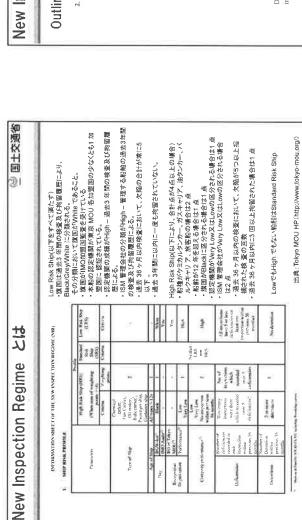


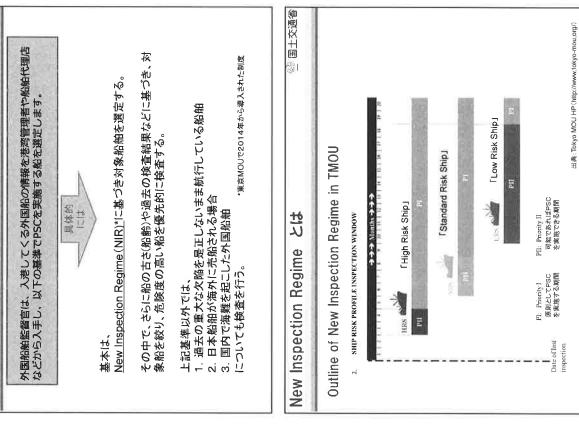




🖄 国土交通省

PSCの複香船舶の選定について





## **海売と海難のPSC**

国土交通省

## 海外売船

PSCは、その本船が安全に仕向地まで回航できる、堪航性(たんこうせい) 理由は、これら海外売船された船の海難が過去多くあり、日本の沿岸で座 日本の古い内航貨物船、漁船、台船などを海外の船主が購入した場合、 日本船としての登録が抹消され、権利が移行した段階で外国船となる。 が確保されているか、設備、乗組員資格の両方を確認する。

礁した場合、日本の自治体等に不利益を及ぼす可能性があるからである。

## **油粗船船** ٥i

日本沿岸で、外国船が衝突、座礁など海難を起こした場合、PSCを行うこ とがある

その船の旗国の認証を受けて検査する機関(例えばNKなど)の検査を尊重 海難の原因や責任は、海上保安庁、海難審判の役割となるが、PSCは、 するものの、サブスタンダード船などでは、海難後航行できるかどうかにつ いて安易な判断をするので、堪航性に不安がある場合は、PSC検査をお こなったうえで、修理を要求する。

## 東京MOUとは

国土交通省 18

正式名称: The Memorandum of Understanding on

Port State Control in the Asia-Pacific Region

FOKYO MO

1993年12月 Tokyo MOU衛橋

アジア太平洋地域におけるPSCの実効性を確保するため、 PSC実施方法の 標準化、域内協力体制の強化を目的

## 1994年3月 『公益財団法人東京エムオウュウ事務局』設立 中立の非営利組織

## 加盟国·地域

## (加盟国 - 22の国と地域)

オーストラリア、カナダ、チリ、中国、フィジー、香港(中国)、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、 マーシャル諸島、ニュージーランド、パナマ、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、 シンガポート、タイ、パヌアシ、ベトナム、メキシコ

## bSCの地域間国際協力の概要

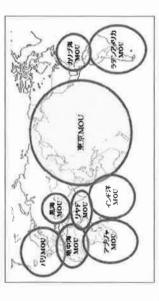
国土交通省

## PSCにおける国際協力の枠組みは?

船は、国境を越えて世界中を移動します。重複した検査の防止、次塔における是正を命じた場合の

フィローアップなど、PSCは、近隣諸国と扱力して実施することにより、一種の効果が罪待できること から、助職単位の紹力が表彰と称います。 アップ・大平学地域では、我が国主導により1993年12月に締結された「アシア大平洋地域における PSCの協力体制に届する業庫(第470円・)」がその枠組みです。また、世界全体では9のMOUが譲 格されています

## 世界各地のPSC協力体制



## **PSCの地域間国際協力の概要**

国土交通省 2

## 東京MOUの主な活動について

ほぼ1年ごとにPSC委員会を開催し、新たな条約・規則についてのPSC実施要領、目標検査率、他 地域のMOUとの協調等について審議、決定しています。2023年は日本で開催されました。 地域内におけるPSCの関和のための委員会の開催

ê

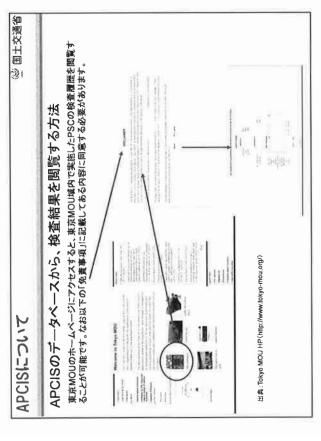
PSC要素金融金加管の総合学品

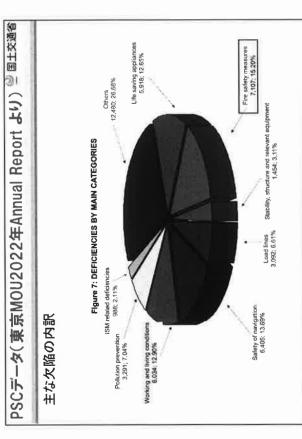
PSCの検査結果は、APCISと呼ばれるデータベースに入力され、実績のとりまとめ、解析・公表を行っ ています。公表されるデータとしては、年次報告のほかに、リアルタイムでの検査結果のWebサイトでの 掲示、拘留船舶のリストも月1回公表しています。 PSC実績のナータベースの管理

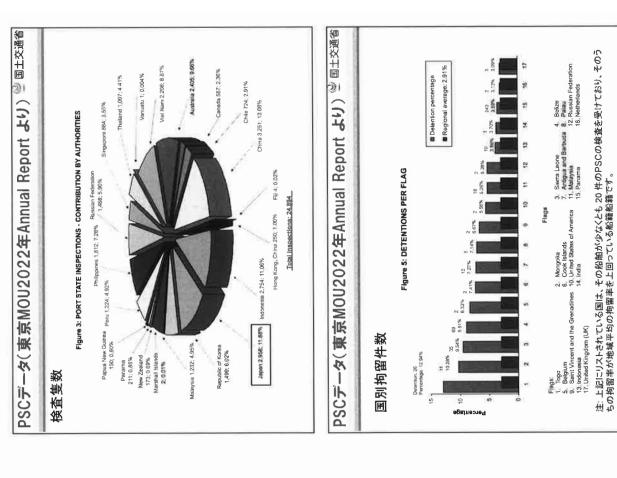
## 3. 技術協力プログラム

東京MOUでは、アジア・太平洋地域のPSC検査官(PSCO: Port State Control Officer)のレベルアップ、PSCの質の均一化による効果的なPSCを図るため、技術協力プログラムを推進しています。我が国も、ネプログラムに率先して参加し、各国のPSC検査官を受入れるなど積極的に貢献しています。

PSC委員会の決定に基づき、通常のPSCに加えて特定のテーマについて重点的に一定期間、メンパー当局一斉に行う検査を行っています。毎年9月から11月の3ヶ月間実施しています。2023年は、 4. 集中核査キャンペーン(CIC: Concentrated Inspection Campaign)の実施 Fier safety (船舶の火災安全対策)について検査しました。







で 清聴ありがとうございました

## 第107回 月 例 会 概 要

- 1 日 時 令和6年3月28日(木)15:00~16:00
- 2 場 所 神戸市中央区文化センター10階 1001-1002会議室
- 3 出 席 者 34名
- 4 概 要
  - (1) 事業経過報告等

奥原専務理事から事業報告及び会務報告が行われた。

### (2) 講 演

神戸海難防止研究会 副会長、神戸大学 名誉教授、大島商船高等専門学校 名 誉教授 石田 廣史氏により「地球温暖化による気象災害と健康への影響」と題 し、講演が行われた。

## 地球温暖化による気象災害と健康への影響

神戸海難防止研究会副会長 神戸大学・大島商船高等専門学校 講師

名誉教授 田 廣 史 氏 石

## 生命の発生と発展に寄与した地球環境とは何か 地球温暖化のメカニズムとその影響メカニズム 地球温暖化に伴う気候変動と災害への影響 大気圏内:空気分子による紫外線の吸収と遮蔽 大気圏外:地球磁場による有害宇宙線の遮蔽 Van Allen帯、地磁気の変遷(大陸移動) 地球温暖化に伴う健康への影響 翢 成層圏、 ナゾンホール 遾

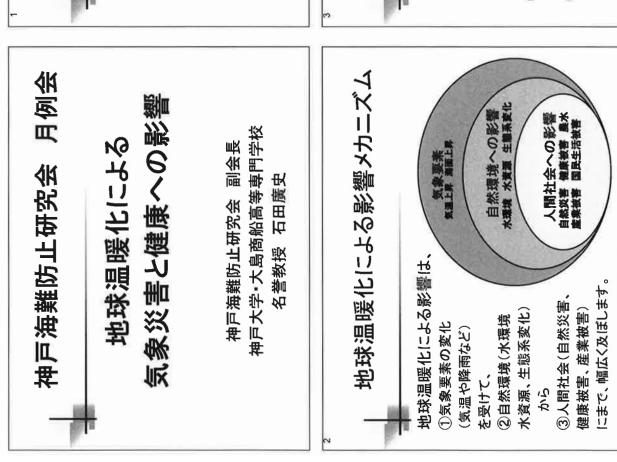
## 16 地上への有害放射線を遮蔽す、 Van Allen帯

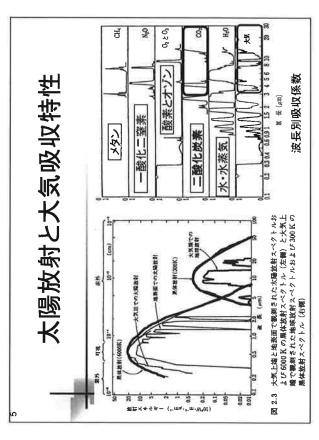


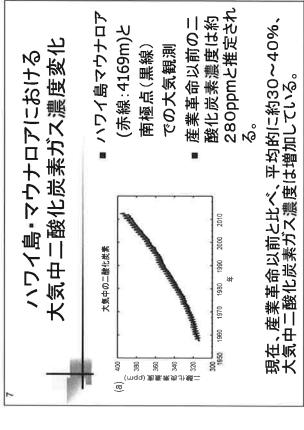
■ 1958年 James Van Allenが人工衛星観測 て電子密度の高い領域を発見。 (放射線観測)によっ

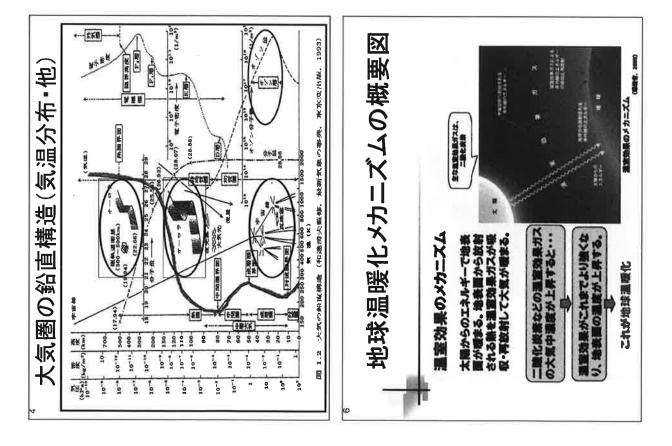
赤道上、数千km上空に陽子、そして数万km上空に電子密度の高い地球を取り巻くドーナツ状の帯

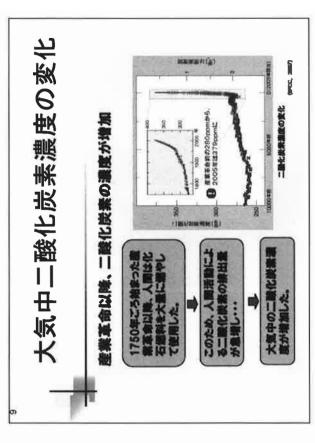
有害宇宙線は地球上空を磁場の影響を受けて地球の周りを回転し、その間にほとんどの陽子や電子などは吸収され、地表面にはほとんど降り注がない。

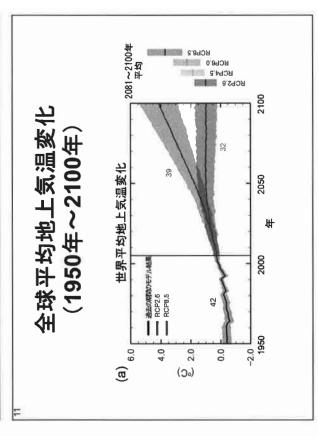


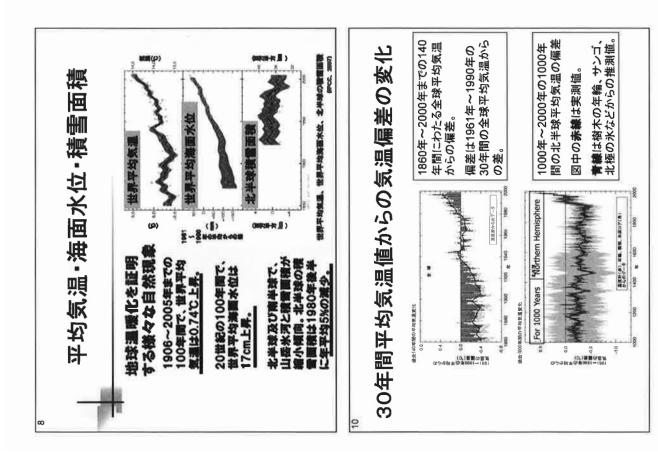


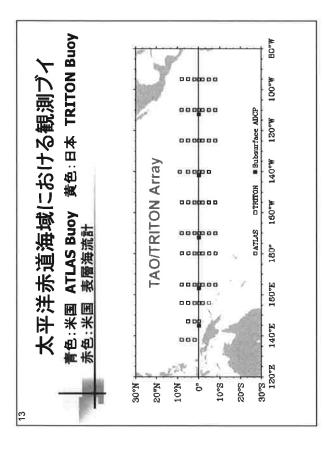


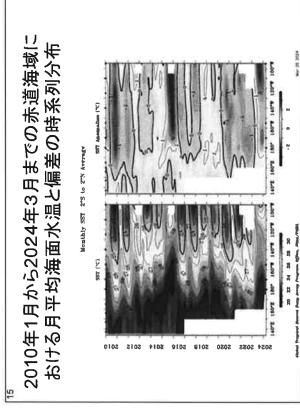


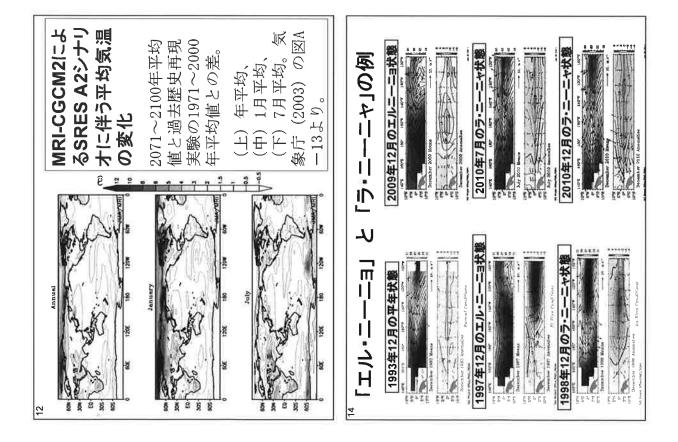












## 2024年3月の月平均海面温度と偏差 - 10, m s-1 + 10. m a 60 2 S May 25 2024 M.00T 120.1 TAO/TRITON Monthly Data March 2024 M. 071 SST ("C) and Wind 160\*1 Clabel Propinel Blaund Pears Army Propries Office, 1986/PME 180 160°E Anomalies 140.E Means 10°S N.01 2.5 5.8 N. 9

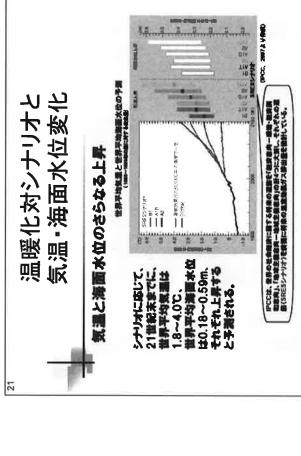








フィリピン名:ヨランダ、 レインピン タケロ・ベン 問込 地域 台風30号(アジア名:ハイエン 行方不明者 1800名以上 2013年11月6日-13日 死者 約6,200人以上 気圧 895hPa(mb) 最大風速 87m/s





金国的に濁ネリスクが高まっている。2005年には、4月以降、西日

本を中心に幕を飾の少ない状態が続いた。

一個在生じている影響ー

る水リスクの高まり

水環境の変化

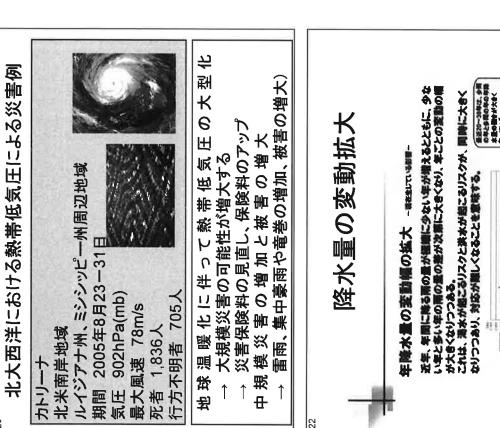
23

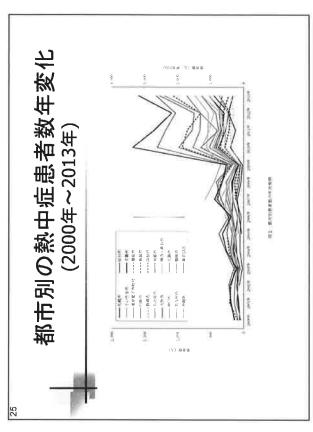
4~6月の3ヶ月間の幕米側は、東海路だかの七主部がにがけたの参えの場点が平年の20~50米職務がなり、54額点が最か信を開きました。同僚生も選択が引いた。

版大庫子本は「七」 2005年4時 - 6日

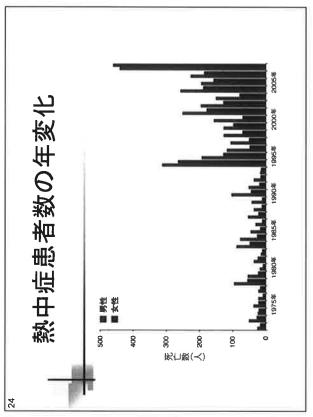
東海地方から九州 地方にかけて森木 が全にた。

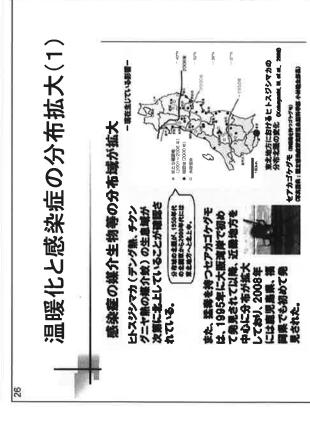
3ヶ月回路水量 (2005年4~6月) 平年比劃 (168年)

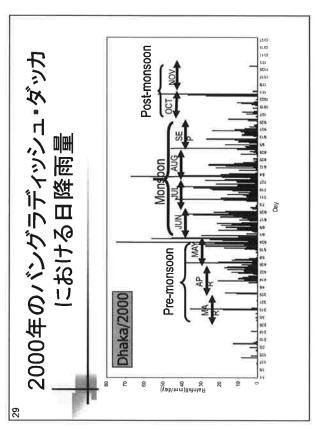


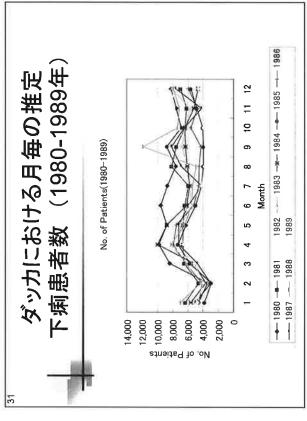


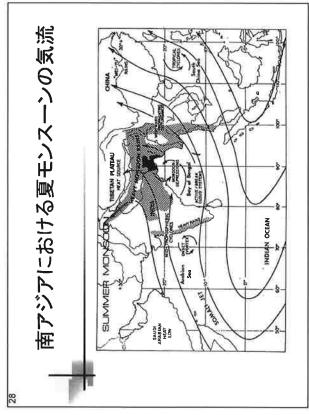


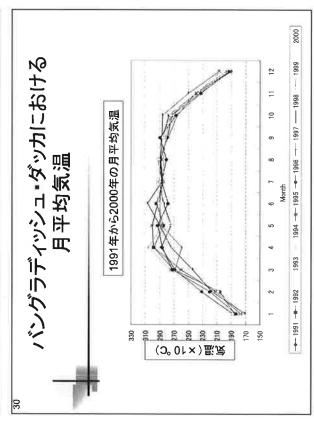


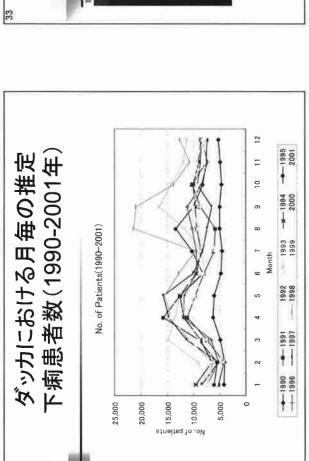






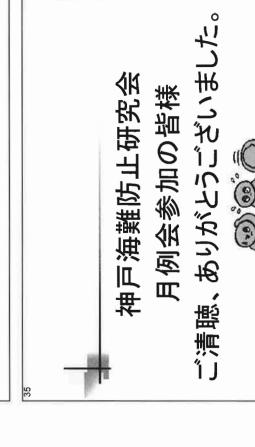






西部太平洋熱帯海域における

観測計画に参加した観測船



What do we expect to the Related Science and Technology from

あた

IJ

溆

岷

the view point of the Earth Environment Preservation?

What can we contribute for the achievement of the Sustainable

Development of the Society and the Earth Environment

UTION" on the earth

Preservation?

We might and would find a "SO COOL SOLUTION" on the earth environment issues which we are facing now. We absolutely expect it in our near future. We are already and have to be on the way to the COOL SOLUTION for OUR EARTH and FUTURE!

## 事 業 報 告

## 和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査 ビジュアル操船シミュレータ実験

- 1 日 時 令和6年1月11日(木)10:00~16:30
- 2 場 所 神戸シミュレーションセンター
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題

### シミュレータ実験実施内容(予定表)

- 10:00 集合
- 10:00~10:35 挨拶、実験実施要領等説明
- 10:35~11:10 ケース1 (入港)
- 11:10~11:35 ミーティング
- 11:35~12:15 ケース2 (入港)
- 12:15~12:25 ミーティング
- 12:25~12:40 ケース5 (出港)
- 12:40~13:35 ミーティング・昼食
- 13:35~14:10 ケース3 (入港)
- 14:10~14:35 ミーティング
- 14:35~14:50 ケース6 (出港)
- 14:50~15:00 ミーティング
- 15:00~15:20 ケース7 (入船左舷着からの出港)
- 15:20~15:55 ミーティング
- 15:55~16:20 ケース4 (入港)
- 16:20~16:40 総合ミーティング
- 16:40 解散

# 出 席 者 名 簿

(順不同・敬称略、※:常任調査研究委員)

部	会	長	渕		真	輝	神戸大学大学院海事科学研究科准教授 ※
委		員	岩	瀬		潔	海技大学校名誉教授 ※
	]]		渡	邉	浩	章	和歌山下津水先区水先人会会長
							(代理 髙木 立 水先人)
	"		朝	藤		健	(一社)日本船長協会参与
	"		徳	田	健	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	日本郵船(株)関西支店支店長 ※
	"		富	Щ		茂	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
	"		岡	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
	"		郡		憲	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	南海フェリー(株)取締役管理部長
操	船	者	畑		辰	幸	和歌山下津水先区水先人会副会長
関係	系官な	公庁	上	田	浩	_	第五管区海上保安本部交通部長
							(代理 上原 干城 航行安全課専門官)
							(同席 澤埜 光弘 海務第二係長)
	"		Щ	下	雄-	一郎	和歌山海上保安部長
							(代理 坂本 敬司 次長)
							(同席 辻口 貴洋 航行安全係長)
委	託	者	(和哥	<b> 次山</b>	- 県県	上整備	<b>音部)</b>
	"		入	П	博	文	港湾空港局港湾空港振興課振興企画班班長
	"		藤	本	修	平	"       振興企画班副主査
	"		芝		康	洋	" 港湾漁港整備課主任
	"		佐	藤	和	也	和歌山下津港湾事務所主事
事	務	局	奥	原	徳	男	(公社)神戸海難防止研究会専務理事
	"		伊	藤	雅	之	" 上席研究員
	"		井	田	英	樹	ッ 事業部長
	"		藤	原		昇	# 事業部長代理
	"		原		大	地	(株)日本海洋科学コンサルタントグループグループ長
	"		島	津	雅	納	# 神戸支店長
	"		髙	橋	浩	子	" 神戸支店シニアコンサルタント

# 大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究 第1回検討会

- 1 日 時 令和6年1月24日(水)13:30~15:10
- 2 場 所 Web会議 及び 神戸海難防止研究会会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 海難の分析結果について
  - (2) A I Sデータによる船舶交通実態の解析結果について
  - (3) 動運航に関する既往研究、実証実験の成果整理結果について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料検1-1 海難の分析結果(案)
  - (2) 検討資料検1-2 AISデータによる船舶交通実態の解析結果(案)
  - (3) 検討資料検1-3 自動運航に関する既往研究の成果整理結果(案)
  - (4) 参考資料 大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究 第1回委員会指摘事項対応一覧

#### 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、長澤 明 委員長により議事が進められた。

(順不同・敬称略、:欠席者)

(※:常任調査研究委員・W:Web会議出席者)

員 長 W 長 澤 明 海上保安大学校名誉教授※ 員 W 山 田 多津人 委 海上保安大学校教授 奥 田 成 幸 IJ 海技大学校名誉教授※ 図 万 谷 小百合 海事教育機構教授※ W廣 野 康 亚 神戸大学大学院海事科学研究科准教授※ IJ (代理 猪野 杏樹 助教) w末 岡 民 行 内海水先区水先人会会長※ IJ 大阪湾水先区水先人会会長※ 望月 誠 IJ W中 村 紳 也 (一社)日本船長協会会長 IJ 徳 田 健 二 日本郵船(株)関西支店支店長※ w富山 茂 (株)商船三井海上安全部部長代理※ W岡本龍太 川崎汽船(株)関西支店副支店長※ W|武 田 正 之 (公社) 関西小型船安全協会会長 IJ (代理 平井 寛 事務局長) W 浦 隆 幸 全日本海員組合関西地方支部支部長 IJ 田渕訓生 IJ 全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 W 國 友 雄 近畿旅客船協会安全対策委員 加藤琢二 神戸旅客船協会会長 関係官公庁 上 田 浩 第五管区海上保安本部交通部長 (代理 大橋 健 航行安全課長) W 伊 大阪海上保安監部長 IJ 藤 卓郎 (代理 西澤 伸広 次長) IJ W安尾 博 志 神戸海上保安部長 (代理 北野 隆志 次長) W 三ケ田 弘 大阪湾海上交通センター所長 IJ (代理 上野 明生 次長) W 米 川 佳 宏 近畿運輸局海上安全環境部長 W東 樹 神戸運輸監理部海上安全環境部長 家 永 薫 兵庫県土木部港湾課長

奥 原 徳 男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事 事 務局 伊藤雅之 上席研究員 IJ 渡 川 明 研究部長 IJ IJ IJ 藤原 昇 IJ 部長代理 W 原 大 地 (株)日本海洋科学コンサルタントグループグループ長 IJ 髙 橋 浩 子 (株)日本海洋科学神戸支店シニアコンサルタント IJ

# 神戸港整備事業に伴う船舶航行安全対策検討調査(基礎工事編) 第1回委員会

- 1 日 時 令和6年1月31日(水)14:00~16:20
- 2 場 所 神戸地方合同庁舎 1階 第4共用会議室 (Web会議併用)
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 調査方針等について
  - (2) 施工計画の概要について
  - (3) 神戸港の航行環境について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料委1-1 調査方針等(案)
  - (2) 検討資料委1-2 施工計画の概要(案)
  - (3) 検討資料委1-3 神戸港の航行環境(案)
  - (4) 参考資料委1-1 神戸港における船舶航行安全対策検討調査報告書(令和3年1月)抜粋
- 6 議 事

開会にあたり委託者の神戸港湾事務所 所長 中本 隆 様より挨拶が行われた。

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、委員長の選任を行い、古莊 雅生 委員が委員長に選任され、以後、委員長により議事が進められた。

#### 7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

(順不同・敬称略、: 欠席者)

(※:常任調査研究委員・W:Web会議出席者)

委	員	長 古	莊	雅	生	神戸大学名誉教授 ※
委		員 石	黒	_	彦	神戸大学大学院海事科学研究科准教授 ※
	IJ	望	月		誠	大阪湾水先区水先人会会長 ※
						(代理 井筒 毅 副会長 ※)
	IJ	W 宮	JII	敏	征	(一社)日本船長協会常務理事
	IJ	W 徳	田	健	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	日本郵船(株)関西支店支店長 ※
	IJ	富	Щ		茂	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
	IJ	畄	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
	IJ	村	岡		博	三菱重工業(株)神戸艦船製造部船渠長 ※
	IJ	芝	本		明	川崎重工業(株)神戸造船工場船渠長 ※
	IJ	加	藤	琢	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	神戸旅客船協会会長
						(代理 井上 誠 専務理事)
	IJ	大	東	洋	沿	兵庫海運組合理事長
	IJ	久	保	昌	三	兵庫県港運協会会長
						(代理 稲田 重彦 専務理事)
	IJ	W寄	神	裕	佑	日本押船土運船協会会長
						(代理 阪本 克己 業務委員)
	IJ	W 寄	神	裕	佑	神戸起重機船協会会長
						(代理 福元 智也 担当委員)
	IJ	笹	井		徹	協同組合神戸タグ協会理事長
						(同席 森本 卓司 事務局長)
	IJ	若	松	康	裕	兵庫県倉庫協会会長
						(代理 小野塚 勉 専務理事)
	IJ	須	藤	明	彦	神戸海運貨物取扱業組合理事長
	IJ	前	田	修	武	神戸サイロ協議会事務局幹事
	"	<u> </u>	柑		艮	全国内航タンカー海運組合関西支部事務局長
	IJ	浦		隆	幸	全日本海員組合関西地方支部長
	IJ		罾	#	깵	神戸港湾労働組合協議会議長
	IJ	<u></u> 山	下	裕	久	ジャンボフェリー(株)運航管理者

員 成尾和也 宮崎カーフェリー(株)運航管理者 委 (同席 角田 和也 副運航管理者) 葛 西 (株)神戸製鋼所顧問 正 記 関係官公庁 H.  $\blacksquare$ 浩 第五管区海上保安本部交通部長 (同席 田川 元嗣 航行安全課専門官) IJ 安尾 博 志 神戸海上保安部長 (同席 村本 亘 航行安全課長) (同席 野原 淳紀 航行安全課第二海務係) 図 三ケ田 忠 大阪湾海上交通センター所長 IJ 弘 (代理 壷内 孝司 運用管制課長) 近畿地方整備局港湾空港部長 IJ 古土井 健 (代理 中官 利之 港湾空港整備・補償課長) (同席 福田 恵太 技術企画官室課長補佐) 神戸運輸監理部海事振興部長 W 馬 谷 正樹 IJ W 松 隆 神戸市港湾局副局長 木 (代理 香川 昌広 港湾計画課長) w 藤 シェルルブリカンツジャパン(株)神戸事業所業務チーム担当リーダー オブザーバー  $\mathbb{H}$ 利 明 WI 寺 田輝重 ENEOS(株)神戸油槽所長 WШ 常 中谷エネテック(株)所長 (ENEOS(株)神戸油槽所受託会社) IJ 下 武 W 泉 セントラル・タンクターミナル(株)神戸事業所SDグループ長 T. 批 IJ 内 宏 (株)東洋信号通信社関西地区担当マネージャー IJ 田 亮 神戸港グループリーダー 野 IJ 生 隆 近畿地方整備局 神戸港湾事務所所長 委 託 中本  $\equiv$ IJ 中 JII 耕 IJ 副所長 WIШ 田 和夫 第一工務課長 藤 倉 永大 先任建設管理官 IJ 大 橋 幸一郎 建設管理官 IJ IJ W 堀 大 幹 田 技官 IJ W有松 技官 勇 (近畿地方整備局 浪速国道事務所) 関係事業者 ₩浦 尾 賢 一 大阪湾岸道路整備推進室建設専門官 (阪神高速道路(株)建設事業本部神戸建設部) 関係事業者 W 篠 原聖 湾岸西伸第一建設事業所課長代理

嗣 企画課課長代理

W 八

木 博

事	務	局		奥	原	徳	男	(公社)神戸海難防止研究	会専務理事
	IJ			伊	藤	雅	之	IJ	上席研究員
	IJ			井	田	英	樹	IJ	事業部長
	IJ		W	宇出	津	弘	昭	IJ	総務部長
	IJ			藤	原		昇	JJ	事業部長代理

# 大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の 運航実態と海難防止に関する調査研究 第2回委員会

- 1 日 時 令和6年2月9日(金)14:00~16:15
- 2 場 所 三宮コンベンションセンター 5階 504~505号会議室 (Web会議併用)
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 船海難の分析結果について
  - (2) AISデータによる船舶交通実態の解析結果について
  - (3) 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼすリスクの評価結果について
  - (4) 課題の抽出について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料委2-1 海難の分析及びAISデータ解析結果(案)
  - (2) 検討資料委2-2 聞き取り調査結果(案)
  - (3) 検討資料委2-3 新たに運航される水上アクセスが現状の船舶交通流に及ぼす リスクの評価結果 (案)
  - (4) 検討資料委1-4 航行安全上の課題の抽出(案)
  - (5) 参考資料 大阪港入出港マニュアル 抜粋
- 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、松本 宏之 委員長により議事が進められた。

7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

以 上

# 出 席 者 名 簿

(順不同・敬称略 : 欠席者)

 $(※:常任調査研究委員・<math>\overline{W}: Web会議出席者)$ 

委	員 長	松	本	宏	之	海上保安大学校名誉教授※
委	員	淺	木	健	司	海技大学校名誉教授※
	"	W 渕		真	輝	神戸大学大学院海事科学研究科准教授※
	"	望	月		誠	大阪湾水先区水先人会会長 ※
	"	W 宮	JII	敏	征	(一社)日本船長協会常務理事
	"	德	H	健		日本郵船(株)関西支店支店長 ※
	"	富	Щ		茂	(株)商船三井海上安全部部長代理※
	"	岡	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長※
	"	W 武	田	正	之	(公社)関西小型船安全協会会長
						(代理 平井 寛 事務局長)
	"	田	渕	訓	生	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長
						(代理 上村 良 事務局長)
	"	W 國	友	雄	$\vec{-}$	近畿旅客船協会安全対策委員
	"	加	藤	琢	$\vec{-}$	神戸旅客船協会会長
						(代理 井上 誠 専務理事)
関係	官公庁	W上	田	浩	_	第五管区海上保安本部交通部長
						(代理 大橋 健 航行安全課長)
	"	W伊	藤	卓	郎	大阪海上保安監部長
						(代理 西澤 伸広 次長)
	"	W安	尾	博	志	神戸海上保安部長
						(代理 北野 隆志 次長)
	"	$\overline{\mathbf{w}}$ $\equiv$	ケ田	忠	弘	大阪湾海上交通センター所長
						(代理 上野 明生 次長)
	"		出井		健	近畿地方整備局港湾空港部長
	"	w *	Ш	佳	宏	近畿運輸局海上安全環境部長
	"	W 東		繁	樹	神戸運輸監理部海上安全環境部長
	IJ	宮	下	明	子	大阪港湾局計画整備部海務課長
						(代理 西村 和展 担当係長)

(同席 水口 将宏 海務係)

関係官公庁 森本昌伸 神戸市港湾局海務課長 事 務 局 奥 原 徳 男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事 渡川 明 IJ 研究部長 昇 IJ 藤原 ッ 部長代理 豊 島 伸 匡 MOLマリン&エンジニアリング(株)関西事務所長 IJ 古 賀 一 弥 研究員 IJ

# 和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査 検討部会

- 1 日 時 令和6年2月22日(木)14:00~15:20
- 2 場 所 アリストンホテル神戸 2階 バレンシアの間 (Web会議併用)
- 3 出 席 者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
  - (2) 航行安全性の検討について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料部1-1 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果(案)
  - (2) 検討資料部1-2 航行安全性の検討(案)
  - (3) 検討資料部1-参考 参考資料 台風対策等(案)
- 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、渕 真輝 部会長より議事が進められた。

(順不同・敬称略、:欠席者)

(※:常任調査研究委員・W: Web会議出席者)

部 会 長 渕 真 輝 神戸大学大学院海事科学研究科准教授 ※ 員 海技大学校名誉教授 ※ 委 岩瀬 潔 和歌山下津水先区水先人会会長 IJ 渡邉浩章 (代理 畑 辰幸 副会長) (一社)日本船長協会参与 IJ 朝藤 健 田健二 IJ 日本郵船(株)関西支店支店長 ※ 富 山 茂 (株)商船三井海上安全部部長代理 ※ IJ W岡 本 龍 太 川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※ IJ 憲二 郡 南海フェリー(株)取締役管理部長 W上田浩一 関係官公庁 第五管区海上保安本部交通部長 (代理 土居 健治 企画調整官) 山 下 雄一郎 和歌山海上保安部長 (代理 坂本 敬司 次長) (同席 辻口 貴洋 航行安全係長) 委 託 者 (和歌山県県土整備部) IJ 入口博文 港湾空港局港湾空港振興課振興企画班班長 W田 原 俊 嗣 IJ 港湾漁港整備課港湾整備班班長 W芝 康洋 港湾整備班主任 務 奥 原 徳 男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事 事 IJ 伊藤雅之 IJ 上席研究員 IJ 井田 英 樹 IJ 事業部長 W渡川 明 IJ IJ 研究部長 W 宇出津 弘 昭 IJ 総務部長 IJ 藤原 IJ 昇 事業部長代理 島 津 雅 納 (株)日本海洋科学神戸支店長 IJ 髙 橋 浩 子 神戸支店シニアコンサルタント

# 大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究 第2回検討会

- 1 日 時 令和6年3月5日(火)13:30~14:40
- 2 場 所 Web会議 及び 神戸海難防止研究会会議室
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 漁業操業に関する留意事項について
  - (2) マリンレジャーに関する留意事項について
  - (3) 海難の分析結果 追加分析について
  - (4) 課題に関する評価について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料検2-1 漁業操業に関する留意事項、マリンレジャーに関する留意事項、 海難の分析結果 追加分析(案)
  - (2) 検討資料検2-2 課題に関する評価一覧(案)

席上配布資料

検討資料検2-1 漁業操業に関する留意事項、マリンレジャーに関する留意事項、 海難の分析結果 追加分析(案) P16 差替

6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、長澤 明 委員長により議事が進められた。

(順不同・敬称略、 : 欠席者)

 $(※:常任調査研究委員・<math>\overline{W}$ : Web会議出席者)

委	員 長	W 長	澤		明	海上保安大学校名誉教授※
委	員	WЩ	田	多清	赴人	海上保安大学校教授
	IJ	W 奥	田	成	幸	海技大学校名誉教授※
	"	W 万	谷	小百	合	海事教育機構教授※
	"	廣	野	康	ХZ	神戸大学大学院海事科学研究科准教授※
	"	末	闐	民	行	内海水先区水先人会会長※
	"	望	月		誠	大阪湾水先区水先人会会長※
						(代理 高垣 政治 副会長)
	"	W 中	村	紳	也	(一社)日本船長協会会長
	"	徳	田	健	$\stackrel{-}{\longrightarrow}$	日本郵船(株)関西支店支店長※
	"	W 富	Щ		茂	(株)商船三井海上安全部部長代理※
	"	岡	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長※
	"	W 武	田	正	之	(公社)関西小型船安全協会会長
						(代理 平井 寛 事務局長)
	JJ	W 浦		隆	幸	全日本海員組合関西地方支部支部長
	)) ])	W 油 田	泆	隆訓	幸 生	全日本海員組合関西地方支部支部長 全国内航タンカー海運組合関西支部支部長
			渕 友			
	"			71		全国内航タンカー海運組合関西支部支部長
	)) ))	W 國	友	雄		全国内航タンカー海運組合関西支部支部長近畿旅客船協会安全対策委員
関係	)) ))	W 國	友	雄		全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長
関係	II II	W 國	友藤	雄琢		全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事)
関係	" " " 官公庁	w 國加 加	友 藤 田	湖 雄 琢 浩	生 二 二	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長
関係	" " " 官公庁	w 國加 加	友 藤 田	加雄琢浩卓	生 二 二	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長
関係	" " 官公庁 "	III   III	友 藤 田 藤	加雄琢浩卓	生二二二郎	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長 (代理 西澤 伸広 次長)
関係	" " 官公庁 "	III   III	友藤 田藤 尾	加雄琢浩卓	生二二二郎	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長 (代理 西澤 伸広 次長) 神戸海上保安部長
関係	" " 官公庁 "		友藤 田藤 尾	加雄琢 浩卓 博	生 二 二 一 郎 志	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長 (代理 西澤 伸広 次長) 神戸海上保安部長 (代理 北野 隆志 次長)
関係	" " 官公庁 "		友藤 田藤 尾	加雄琢 浩卓 博	生 二 二 一 郎 志	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長 (代理 西澤 伸広 次長) 神戸海上保安部長 (代理 北野 隆志 次長) 大阪湾海上交通センター所長
関係	" " " " " " "	III   III	友藤 田藤 尾 田	加 雄琢 浩卓 博 忠	生 二二 一郎 志 弘	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 近畿旅客船協会安全対策委員 神戸旅客船協会会長 (代理 井上 誠 専務理事) 第五管区海上保安本部交通部長 大阪海上保安監部長 (代理 西澤 伸広 次長) 神戸海上保安部長 (代理 北野 隆志 次長) 大阪湾海上交通センター所長 (代理 上野 明生 次長)

関係官公庁 W 家 永 薫 兵庫県土木部港湾課長 (代理 三木 大陸 副課長) 事 務 局 奥 原 徳 男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事 渡川 明 IJ 研究部長 藤原 IJ 昇 部長代理 W原 大地 ㈱日本海洋科学コンサルタントグループグループ長 IJ 髙 橋 浩 子 ㈱日本海洋科学神戸支店シニアコンサルタント IJ

## 和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査 第2回委員会

- 1 日 時 令和6年3月11日(月)14:00~16:25
- 2 場 所 アリストンホテル神戸 5階 カスティーリアの間 (Web会議併用)
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 第1回委員会議事概要について
  - (2) 検討部会の結果報告について
  - (3) ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果について
  - (4) 航行安全性の検討について
  - (5) 航行安全対策について
  - (6) 報告書構成について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料委2-1 第1回委員会議事概要(案)
  - (2) 検討資料委2-2 ビジュアル操船シミュレータ実験実施結果(案)
  - (3) 検討資料委2-3 航行安全性の検討(案)
  - (4) 検討資料委2-4 航行安全対策(案)
  - (5) 検討資料委2-5 報告書構成(案)
  - (6) 参考資料委2-1 第1回委員会における主な指摘事項及びその対応
  - (7) 参考資料委2-2 参考資料 台風対策等
- 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、岩瀬 潔 委員長により議事が進められた。 閉会にあたり岩瀬 潔 委員長より挨拶が行われた後、委託者の和歌山県 県土整備部港湾空港局長 花田 祥一 様より挨拶が行われた。

#### 7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

(順不同・敬称略、 : 欠席者)

 $(※:常任調査研究委員・<math>\overline{W}: Web会議出席者)$ 

<b>₹</b>	旦	Ħ		ш	油井		注刀	海++1-24-45 42 44-44 V
委	員	長		岩	瀬	<del>+</del>	潔	海技大学校名誉教授 ※
委		員		渕	\ <del></del>	真	輝	神戸大学大学院海事科学研究科准教授 ※
	IJ			渡	邉	浩	章	和歌山下津水先区水先人会会長
	IJ			朝	藤		健	(一社)日本船長協会参与
	IJ			徳		健		日本郵船(株)関西支店支店長 ※
	IJ			當			茂	(株)商船三井海上安全部部長代理 ※
	IJ		W	岡	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長 ※
	IJ		W	郡		憲	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	南海フェリー(株)取締役管理部長
	IJ		W	小	林	道	明	和歌山県海運組合理事長
								(代理 泉野 俊信 専務理事)
	IJ		W	平	野	眞	幸	和歌山港運協会会長
								(代理 泉野 俊信 専務理事)
	"			太	田	豊	隆	(公社)関西小型船安全協会和歌山県支部長
関係	に官な	广	W	上	田	浩	_	第五管区海上保安本部交通部長
								(代理 土居 健治 企画調整官)
	"		W	Щ	下	雄一	一郎	和歌山海上保安部長
								(代理 坂本 敬司 次長)
								(同席 辻口 貴洋 航行安全係長)
	"			片	岡	輝	行	近畿地方整備局和歌山港湾事務所長
	IJ		W	小	森	成	人	近畿運輸局和歌山運輸支局長
								(代理 岡本 広正 首席運航労務監理官)
委	託	者		(禾	口歌山	』県県	具土整備	<b>情部</b> )
	IJ		W	花	田	祥	_	港湾空港局長
	IJ		W	入	П	博	文	港湾空港局港湾空港振興課振興企画班班長
	IJ		W	米	地		淳	港湾空港局港湾漁港整備課課長
	IJ		W	Щ	本	博	信	<i>"</i> 副課長
	IJ		W	田	原	俊	嗣	"     港湾整備班班長
	IJ		W	芝	•	康	洋	"     港湾整備班主任
	IJ			橋	本	勇	人	和歌山下津港湾事務所長

事 務 局 奥原徳男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事 IJ 伊藤雅之 上席研究員 事業部長 井 田 英 樹 IJ IJ W渡川 IJ 明 IJ 研究部長 W 宇出津 弘 昭 総務部長 IJ 藤原 昇 IJ 事業部長代理 原 (株)日本海洋科学コンサルタントグループグループ長 大 地 IJ 島津雅納 神戸支店長 IJ IJ

# 大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡船の 運航実態と海難防止に関する調査研究 第3回委員会

- 1 日 時 令和6年3月21日(月)13:30~14:40
- 2 場 所 三宮コンベンションセンター 5階 502~503号会議室 (Web会議併用)
- 3 出席者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 船舶運航上の留意点について
  - (2) 報告書の構成について
- 5 資 料
  - (1)検討資料委3-1 船舶運航上の留意点(案)
  - (2) 検討資料委3-2 報告書構成(案)
  - (3) 席上配布資料 第2回委員会資料修正一覧
- 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、松本 宏之 委員長により議事が進められた。委員会審議終了後、神戸海難防止研究会 大泉 会長が挨拶を行った。

7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

(順不同・敬称略、:欠席者)

(※:常任調査研究委員・W: Web会議出席者)

委員長 松本宏之 海上保安大学校名誉教授※ 委 員 淺木健司 海技大学校名誉教授※ IJ 渕 真 輝 神戸大学大学院海事科学研究科准教授※ 望月 誠 大阪湾水先区水先人会会長※ IJ W宮川 敏征 (一社)日本船長協会常務理事 w 徳 田 健 二 日本郵船(株)関西支店支店長※ IJ 茂 (株)商船三井海上安全部部長代理※ 富山 w 岡 本 龍 太 川崎汽船(株)関西支店副支店長※ IJ W武 田 正 之 (公社)関西小型船安全協会会長 (代理 平井 寛 事務局長) IJ 田 渕 訓 生 全国内航タンカー海運組合関西支部支部長 (代理 上村 良 事務局長) W 國 友 雄 近畿旅客船協会安全対策委員 加藤琢二 神戸旅客船協会会長 関係官公庁 W上 田 第五管区海上保安本部交通部長 浩 W伊 藤 卓 郎 大阪海上保安監部長 (代理 岸原 司 航行安全課長) W安尾博 神戸海上保安部長 志 (代理 北野 隆志 次長) W三ケ田 大阪湾海上交通センター所長 IJ 弘 (代理 壷内 孝司 運用管制課長) w 古土井 近畿地方整備局港湾空港部長 健 (代理 中司 利之 港湾空港整備・補償課長) W 米 川 佳 宏 IJ 近畿運輸局海上安全環境部長 W 東 繁樹 神戸運輸監理部海上安全環境部長 IJ w宮 下 明 子 大阪港湾局計画整備部海務課長 (代理 西村 和展 担当係長)

神戸市港湾局海務課長

森本昌伸

(同席 水口 将宏 海務係)

事	務	局	大	泉		勝	(公社)神戸海難防止研究	会会長
	"		奥	原	徳	男	JJ	専務理事
	"		伊	藤	雅	之	IJ	上席研究員
	"		渡	Ш		明	IJ	研究部長
	"		藤	原		昇	IJ	部長代理
	"		豊	島	伸	匡	MOLマリン&エンジニ	アリング(株)関西事務所長
	"		古	賀	_	弥	IJ	研究員

# 大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に関する調査研究 第2回委員会

- 1 日 時 令和6年3月26日(火)14:00~14:35
- 2 場 所 ラッセホール 5階 サンフラワーの間 (Web会議併用)
- 3 出 席 者 別紙のとおり
- 4 議 題
  - (1) 課題に関する評価一覧について
  - (2) 報告書の構成について
- 5 資 料
  - (1) 検討資料委2-1 自動運航船の課題に関する評価一覧(案)Ⅱ
  - (2) 検討資料委2-2 報告書の構成(案)
  - (3) 参考資料委2-1 マリンレジャー (SUP、ボードセイリング)活動拠点一覧
  - (4) 参考資料委2-2 審議経過概要
  - (5) 参考資料委2-3 自動運航船の課題に関する評価一覧(第2回検討会資料)
- 6 議 事

事務局により出席者及び資料の確認を行った後、長澤 明 委員長により議事が進められた。委員会審議終了後、神戸海難防止研究会 大泉 会長が挨拶を行った。

7 審議結果

提示された検討資料は、一部文言について委員会における意見等を盛り込み修正することを前提に了承された。

(順不同・敬称略、 : 欠席者)

 $(%:常任調査研究委員・<math>\overline{W}:Web会議出席者)$ 

委	員 長	W	長	澤		明	海上保安大学校名誉教授※
委	員	W	Щ	田	多汇	赴人	海上保安大学校教授
	"	W	奥	田	成	幸	海技大学校名誉教授※
	"	W	万	谷	小百	合	海事教育機構教授※
	IJ		廣	野	康	УŽ	神戸大学大学院海事科学研究科准教授※
	"		栽	闐	民	往	内海水先区水先人会会長※
	IJ		望	月		誠	大阪湾水先区水先人会会長※
	IJ	W	中	村	紳	也	(一社)日本船長協会会長
	<i>))</i>	W	徳	田	健	$\stackrel{-}{\rightharpoonup}$	日本郵船(株)関西支店支店長※
	"		富			茂	(株)商船三井海上安全部部長代理※
	<i>))</i>	W	岡	本	龍	太	川崎汽船(株)関西支店副支店長※
	"	W	武	田	正	之	(公社)関西小型船安全協会会長
							(代理 平井 寛 事務局長)
	<i>))</i>	W	浦		隆	幸	全日本海員組合関西地方支部支部長
	<i>))</i>		田	渕	訓	生	全国内航タンカー海運組合関西支部支部長
							(代理 上村 良 事務局長)
	IJ		或	友	雄	$\vec{\underline{}}$	近畿旅客船協会安全対策委員
	IJ		加	藤	琢	$\vec{\underline{}}$	神戸旅客船協会会長
							(代理 井上 誠 専務理事)
関係	官公庁	W	上	田	浩	_	第五管区海上保安本部交通部長
	IJ	W	伊	藤	卓	郎	大阪海上保安監部長
							(代理 西澤 伸広 次長)
	IJ	W	安	尾	博	志	神戸海上保安部長
							(代理 北野 隆志 次長)
	IJ	W	三方	ア田	忠	弘	大阪湾海上交通センター所長
							(代理 壷内 孝司 運用管制課長)
	"	W	米	Ш	佳	宏	近畿運輸局海上安全環境部長
	"	W	東		繁	樹	神戸運輸監理部海上安全環境部長

関係官公庁 😡 家 永 薫 兵庫県土木部港湾課長 (代理 三木 大陸 副課長) 事 務 局 大 泉 (公社)神戸海難防止研究会会長 勝 奥 原 徳 男 IJ IJ 専務理事 渡 川 明 研究部長 昇 藤原 部長代理 ₩ 原 大地 (株)日本海洋科学コンサルタントグループグループ長 髙 橋 浩 子 (株)日本海洋科学神戸支店シニアコンサルタント IJ

# 会 務 報 告

#### 第106回 業務運営会議

1 日 時 令和6年1月17日(水)12:00~12:50

2 場 所 商船三井ビル 4 F 会議室

3 出 席 者 (順不同・敬称略)

議 長 大 泉 勝 (公社)神戸海難防止研究会会長 代 表 理 事

業務執行理事 奥原徳男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事

構 成 員 石 田 廣 史 神戸大学名誉教授

" 望 月 誠 大阪湾水先区水先人会会長

n 末 岡 民 行 内海水先区水先人会会長

" 中村神也 (一社)日本船長協会会長

(代理 太田 正紀 理事)

# 様 浩 之 (株)商船三井関西支店長

(代理 富山 茂 海上安全部部長代理)

" 徳 田 健 二 日本郵船(株)関西支店長

*"* 葛 西 正 記 (株)神戸製鋼所顧問

事務局 宇出津 弘昭 (公社)神戸海難防止研究会総務部長

# 田 英 樹 (公社)神戸海難防止研究会事業部長

#### 4 議 題

- (1) 業務報告等について
- (2) その他
- 5 資 料

席上配布

資料1 業務報告等

6 議事概要

大泉議長の挨拶があり、引き続き議事に入った。

奥原業務執行理事より、議題(1)業務報告等について説明があった。特に意見等はなく承認された。議題(2)その他について、次回の業務運営会議等の開催予定日について奥原業務執行理事より説明があった。

#### 第107回 業務運営会議

1 日 時 令和6年2月21日(水)12:00~12:50

2 場 所 商船三井ビル 4 F 会議室

3 出 席 者 (順不同・敬称略) は欠席者

議 大泉 勝 (公社)神戸海難防止研究会会長

業務執行理事 奥原徳男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事

構 成 員 石 田 廣 史 神戸大学名誉教授

" 望 月 誠 大阪湾水先区水先人会会長

# 末 岡 民 行 内海水先区水先人会会長

リカス 中村神也 (一社)日本船長協会会長

(代理 太田 正紀 理事)

(代理 富山 茂 海上安全部部長代理)

ッ 徳 田 健 二 日本郵船(株)関西支店長

*"* 葛 西 正 記 (株)神戸製鋼所顧問

事務局 宇出津弘昭 (公社)神戸海難防止研究会総務部長

#### 4 議 題

- (1) 業務報告等について
- (2) その他
- 5 資 料

席上配布

資料1 業務報告等

6 議事概要

大泉議長の挨拶があり、引き続き議事に入った。

奥原業務執行理事より、議題(1)業務報告等について説明があった。特に意見等はなく承認された。議題(2)その他について、次回の業務運営会議等の開催予定日について奥原業務執行理事より説明があった。

#### 第108回 業務運営会議

1 日 時 令和6年3月13日(水)12:00~12:45

2 場 所 商船三井ビル 4 F 会議室

3 出 席 者 (順不同・敬称略) は欠席者

議 · 長 · 大 · 泉 · 勝 · (公社)神戸海難防止研究会会長 代 表 理 事 · .

業務執行理事 奥原徳男 (公社)神戸海難防止研究会専務理事

構 成 員 石 田 廣 史 神戸大学名誉教授

" 望 月 誠 大阪湾水先区水先人会会長

n 末 岡 民 行 内海水先区水先人会会長

" 中村 神 也 (一社)日本船長協会会長

# 様 造 之 (株)商船三井関西支店長

(代理 富山 茂 海上安全部部長代理)

ル 葛 西 正 記 (株)神戸製鋼所顧問

事務局 宇出津弘昭 (公社)神戸海難防止研究会総務部長

# 田 英 樹 (公社)神戸海難防止研究会事業部長

#### 4 議 題

- (1) 業務報告等について
- (2) 令和6年度常任調査研究委員の委嘱について
- (3) その他
- 5 資 料

席上配布

資料1 業務報告等

資料2 常任委員名簿

6 議事概要

大泉議長の挨拶があり、引き続き議事に入った。

奥原業務執行理事より、議題(1)業務報告等について、議題(2)令和6年度常任調査研究委員の委嘱について説明があった。特に意見等はなく承認された。議題(3)その他について、次回の業務運営会議等の開催予定日について奥原業務執行理事より説明があった。



#### 第20回 放置艇に関する一考

海上保安大学校名誉教授 神戸大学客員教授

松本宏之

国土交通省の統計によれば、わが国のプレジャーボートの保有隻数は、平成11年度の約34万隻をピークとして、令和4年度には半分以下の約15万隻まで減少しているが、国土交通省と水産庁が実施した「令和4年度プレジャーボート全国実態調査」によると、プレジャーボート総隻数(確認艇)が144,796隻であるのに対して、放置艇が56,104隻もあり、放置艇率は38.7%にもなる。平成14年度の調査結果では、プレジャーボート総隻数約227,000隻に対して放置艇が約134,000隻(放置艇率は約59%)だったので、少しは改善されているものの、この調査は港湾区域、河川区域、漁港区域の三水域に限られているので、実際の放置艇の数はもっと多いと思われる。ちなみに全国ワーストの県は広島県で、放置艇の数が8,359隻(放置艇率は62.7%)であったが、平成8年の調査結果では放置艇が約17,000隻(放置艇率は約89%)も確認されていたので、徐々にではあるが放置艇対策の成果は出ている。

放置艇が社会問題化して以降、無秩序な状態を解消する方策が検討されたが、そもそも既存の法が想定してこなかった事象であったため、例えば、強制的に撤去するとか、罰則をかけるとかといったドラスティックな手段をただちに行使するという状況にはなかった。すなわち少々遠回りするような対策ではあるが、国や都道府県などが取り組んだのは、まずはプレジャーボートの収容能力を向上させるために、ボートパークやプレジャーボートスポット、フィッシャリーナ等の係留施設を整備することであった。これは既存のマリーナなどの収容能力をはるかに超えるプレジャーボートがすでに存在していたことへの現実的対応ではあるが、クラブ組織で紳士淑女的に活動する欧米と比べるにつけ、わが国の急速な海洋レジャーの大衆化の弊害が如実に露呈したものといえるのではなかろうか。なお、フィッシャリーナとはFishとArenaを組み合わせた造語で、漁業と海洋性レクリエーションの共存と地域活性

化を図ることを目的としたものである。

このようにハード面が整備された後、地域レベルで放置艇を施設に誘導する方策が取られるのであるが、係留・保管には金銭的費用などが伴うために、利便性の問題も含め、必ずしも放置艇所有者に歓迎されるものではなかったようである。そこで行政機関は誘導と規制をセットにして、法律や条例に基づく放置等禁止区域や重点撤去区域を指定し、放置艇を港湾等から排除する措置を講じた。この段階で、移動しない放置艇の所有者に対しては、指導や取締りを実施し、場合によっては罰則を科すこともあり、また行政代執行(所有者に代わり行政が放置艇を撤去する)が行われることもある。ちなみに、神戸港では平成26年12月に放置艇対策事業初の行政代執行が行なわれている。

しかしながら行政代執行には問題点があり、行政が一時的に金銭負担をした後に所有者がいなくなると、肩代わりした費用が徴収できなくなってしまう。神戸港でも平成27年に小型船舶3隻に対して行政代執行を実施して費用を請求したが、翌年に原因者が死亡し、親族らも相続放棄したために、宙に浮いた状態となってしまった。また行政代執行は所有者が不明の場合には、撤去を命令する相手がいないので手続きを進めることができない。陸上でもナンバープレートを外して放棄された自動車が社会問題化しているが、プレジャーボートも廃棄処分の費用惜しさに船舶番号などを隠して所有者がわからないようにしている悪質な事例もある。

このような所有者が不明の放置艇に対しては簡易代執行という手続きがあるが、放置艇の所有権が行政側に帰属した後に行政自らが廃棄処分を行うので、事前に財政的負担の問題を解決しておかなければならない。神戸港でも平成28年度末までに9隻の放置艇の簡易代執行が実施されているが、1隻あたり少なくとも数十万円かかるといわれているので、個人所有物だった船舶の廃棄費用を税金で賄うことは残念でならない。なお、この簡易代執行の法的根拠は港湾の秩序ある整備や適正な運営を図ることを目的とした港湾法に規定されているが、例えば神戸港において沈廃船となった放置艇があった場合、そして神戸市民の健全で快適な環境を確保するために制定された「神戸市民の環境をまもる条例」の対象になるのであれば、この環境条例に基づく廃棄物として処分することができる。

ところで地道な施策が効を奏し、平成28年には神戸港内から放置艇が消えており、関係するトラブルの問題解決に至ったが、実は副次的にプレジャーボートを管理することによる安全上の大きなメリットがある。すなわちプレジャーボートの活動形態は一匹狼的なものがほとんどで、氏名や住所の特定が困難であるといわれており、例えば講習会などの案内が届かないために、有益な情報や安全意識の啓もう活動に触れる機会が少なかった。もちろん5年に一度の操縦免許証の更新時にも講習は受けているが、マリーナなどでの所有者の組織化は、地域の特性を加味したきめ細かな安全情報や海事知識などに触れる機会を増やすので、活動海域での商船や漁船などとの関係において、より良い航行安全環境が実現できると思われる。いずれにせよプレジャーボートに関しては、まずは根源にある所有者責任の醸成と船乗りとしての自覚に期待したい。



# ○事務日誌抄

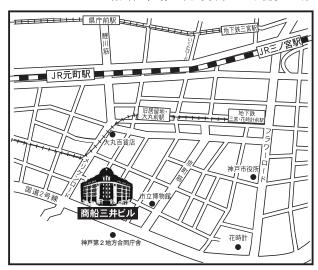
(R6. 1. 1~R6. 3. 31)

月日	曜日	時間	委 員 会 名	実施場所
1. 11	(木)	1000	   和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査	神戸シミュレーションセンター
			ビジュアル操船シミュレータ実験	
1. 17	(水)	1200	第106回業務運営会議	商船三井ビル会議室
1. 24	(水)	1330	大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に	神戸海難防止研究会会議室
			関する調査研究 第1回検討会	
1.31	(水)	1400	神戸港海上工事に伴う船舶航行安全対策検討調査	神戸地方合同庁舎
			(基礎工事編) 第1回委員会	
2. 1	(木)	1500	第105回月例会	神戸市中央文化センター
2. 9	(金)	1400	大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡	三宮コンベンションセンター
			船の運航実態と海難防止に関する調査研究	
			第2回委員会	
2.21	(水)	1200	第107回業務運営会議	商船三井ビル会議室
2. 22	(木)	1400	和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査	アリストンホテル神戸
			検討部会	
2. 26	(月)	1500	第106回月例会	神戸市中央文化センター
3. 5	(火)	1330	大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に	神戸海難防止研究会会議室
			関する調査研究 第2回検討会	
3. 11	(月)	1400	和歌山下津港大型クルーズ客船航行安全検討調査	アリストンホテル神戸
			第2回委員会	
3. 13	(水)	1200	第108回業務運営会議	商船三井ビル会議室
3. 21	(木)	1330	大阪湾における小型旅客船及び遊漁船並びに瀬渡	三宮コンベンションセンター
			船の運航実態と海難防止に関する調査研究	
			第3回委員会	
3. 26	(火)	1400	大阪湾における自動運航船の航行安全上の課題に	ラッセホール
			関する調査研究 第2回委員会	
3. 28	(木)	1500	第107回月例会	神戸市中央文化センター

#### 公益社団法人 神戸海難防止研究会 所在地 · 略図

#### 交通アクセス

JR神戸線 元町駅東口から徒歩7分 阪神本線 元町駅東口から徒歩7分



#### 会 報

第 48 号 (令和 6 年 3 月)

発行所公益社団法人神戸海難防止研究会神戸市中央区海岸通5番地(商船三井ビル7階)

郵便番号 650-0024

T E L (078)332-2035(代)

F A X (078)332-2037

U R L http://kobe-kaibouken.or.jp

E-mail kaibouken@kobe-kaibouken.or.jp